

楽踊楽座 全国行脚 記録

行脚 No.18

| | |
|-----|--------------|
| 日時 | 2013年7月9日 |
| 行脚先 | 高砂城跡 |
| 住所 | 兵庫県高砂市 (播磨国) |
| 行事名 | 祇園祭 |

特徴

高砂城の記録はあまり残っていないようですが、室町時代に杉岡蔵人によって築かれたと言われています。『三木の干殺し』とも言われた羽柴秀吉による三木城攻めの際、別所長治の有力武将であった高砂城主、梶原平三郎衛景行は、最後まで兵糧の供給基地として播磨灘の海上を押さえていました。そこで、秀吉はこの高砂からの兵糧の道を絶とうと高砂城攻めを開始しました。当初、一千騎の秀吉軍の前に、景行は毛利の援軍を得ながら三百余騎で見事打ち破りました。しかし、その後の秀吉軍の大軍の前にはなす術もなく、あえなく落城となりました。その後、慶長五年(1600年)に池田輝政が播磨に入り、姫路城を築くと同時に、播磨の海の守りを固めるために家臣中村主殿助正勝を入城させます。新しい場所に大規模な構えの城を形成させ、高砂は城下町として生まれ変わりました。しかし、その立派な城も元和元年(1615年)に出された『一国一城令』により破棄され、廃城となりました。その跡に高砂の浦にあった素盞鳴尊(牛頭天王)を遷座したのが、高砂神社であると言われています。

黒田官兵衛との関わり

三木合戦では黒田官兵衛も織田・羽柴軍として戦に加わり、先手を務めていました。

記録

